



**県内 Stage 1 へ移行も油断は禁物！
新型コロナウイルス感染症**

感染症発生動向速報

(令和4年第13週分・3月28日～4月3日)

《インフォメーション》

●新型コロナウイルス感染症

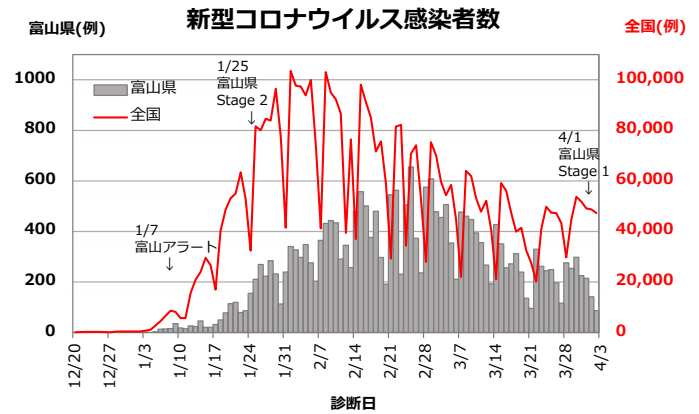
国内の新型コロナウイルス感染者数は、4月3日時点で6,702,086例となり、28,286例の死亡が確認されています。全国の感染者数は緩やかに減少していましたが、3月末には37都道府県で増加傾向となっています(図;折れ線グラフ)。

県内の感染者数は3月上旬から緩やかに減少傾向を維持し、今週の新規感染者数は1,496例(暫定値)でした(図;棒グラフ)。このため、4月1日に県は警戒レベルを「ステージ2」から「ステージ1」に引き下げました。県内での流行の主体はオミクロン株(BA.1)ですが、BA.1よりやや感染力が高いとされているBA.2系統が3例確認されています。

首都圏、関西圏を中心に、BA.2系統への置き換わりが進むことで、感染の再拡大が懸念されています。また、ワクチン3回目接種によりBA.2系統に対しても十分な効果が得られることから、接種機会を得た12歳以上の方は速やかに接種することが推奨されます。

感染拡大の早期収束のためには、ワクチンの追加接種や基本的な感染対策(手指消毒、正しいマスクの着用、十分な換気、対人距離を保つこと)の継続が必要です。新年度が始まり、人の移動や行事が多い時期となっています。リバウンドを起こさないためにも感染対策の徹底を心がけましょう。

体がだるい、熱がある、のどに違和感がある等の症状がある場合は、出勤や登校、外出や人と会うことを控え、速やかに医療機関に連絡のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691;24時間対応)にご連絡ください。また、ワクチン接種を受けられない方、感染している可能性に不安を抱える方などを対象にPCR等検査無料化事業が実施されています。詳しい内容は県HP(<https://www.pref.toyama.jp/1103/20211227pcr.html>)よりご確認ください。



《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 1,496件(暫定値)
- 二類感染症 結核 3件(①②共に第12週診断分 ①40歳代、男性 ②80歳代、女性 ③70歳代、女性)
- 四類感染症 レジオネラ症 2件(①②共に第12週診断分:70歳代、肺炎型 ①男性 ②女性)
- 五類感染症 アメーバ赤痢 1件(第12週診断分:50歳代、男性、腸管アメーバ症)
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件(第12週診断分:60歳代、男性、A群)
- 侵襲性肺炎球菌感染症 1件(70歳代、女性)
- 水痘(入院例) 1件(30歳代、女性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	3.90(↑)	3.86
2位	RSウイルス感染症	0.76(↓)	0.90
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.66(↑)	0.48
4位	突発性発しん	0.38(↑)	0.07
5位	流行性角結膜炎	0.29(→)	0.29
6位	ヘルパンギーナ	0.10(↓)	0.17

○感染症発生動向調査報告状況（令和4年第13週 令和4年3月28日～令和4年4月3日）

分類	疾患	今週報告分（第13週）							累積報告数（令和4年第1週（1月3日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※2	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※2	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	199	131	375	125	656 ^{※1}	10	1,496	2,101	1,906	5,282	1,934	12,423 ^{※1}	84	23,730
二類感染症	結核					1		1	1	2	6	4	12		25
四類感染症	レジオネラ症								2		3	1	6		12
五類感染症	アメーバ赤痢										1		1		2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症											1	2		3
	急性脳炎										2				2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症								2		3		2		7
	侵襲性インフルエンザ菌感染症												1		1
	侵襲性肺炎球菌感染症			1					1		1		1		2
	水痘（入院例）					1		1					1		1
	梅毒								1		4	2	10		17
	播種性クリプトコックス症												2		2
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										1				1
	RSウイルス感染症	2	1	9		10		22	25	16	203	56	265		565
		0.50	0.33	1.13		1.00		0.76							
	咽頭結膜熱	1		1				2	19	9	103	7	34		172
		0.25		0.13				0.07							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1		11		7		19	18	7	55	19	108		207
		0.25		1.38		0.70		0.66							
	感染性胃腸炎	12	5	36	13	47		113	258	319	680	268	759		2,284
		3.00	1.67	4.50	3.25	4.70		3.90							
	水痘			2				2		3	7	1	12		23
				0.25				0.07							
	手足口病								1	8	42	3	47		101
	伝染性紅斑								1		3	1	1		6
	突発性発しん	3	1	4	1	2		11	7	7	36	9	20		79
		0.75	0.33	0.50	0.25	0.20		0.38							
	ヘルパンギーナ	3						3	36	7	21	1	6		71
0.75							0.10								
流行性耳下腺炎								1		2	1			4	
流行性角結膜炎	2						2	4	1	1				6	
	2.00						0.29								
細菌性髄膜炎												1		1	
マイコプラズマ肺炎											1			1	
インフルエンザによる入院患者（※3）											3	1		4	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 県報道資料の判明日調査中は、公表前日を判明日とした暫定値です。 ※2 その他は県外、居住地非公表分です。

※3 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和3年第36週(9月6日)～の集計です。